

次号の予定

- ・児童とのふれあいのつどい
- ・福祉協力員合同研修会
- ・三代交流グランドゴルフ大会



**まち点検の要望書  
西区区長へ提出!!**

九月三日にふれあいグループ、各町内会会長、福祉推進委員、民児協会長達で、向井西区長を訪問した。そして、去る七月七日に実施した、まち点検の結果の要望書を渡しました。各町内会会長が説明をして、担当者から事情を聞きました。向井西区長からは、「できる事はなるべく早く実施して、回答させて下さい」との返事をいただきました。

**公民館まつり**

毎年十一月の第二、土、日に草津公民館まつりが開催されます。一年間を通して勉強された各部門の発表会の場です。今年は十一月九日(土)と十日(日)に行われ、盛会でした。

民児協主催の「障害者ふれあいバザー」も行われ、各町内の多くの方々の援助で家で眠っている色々な品物をいただき販売いたしました。町内の皆様のご協力のおかげで多額の収益をあげることが出来ました。

収益は全額「ふれあいグループ元氣な仲間たち」の泉本会長へ民児協の力田会長より贈呈する運びとなりました。町内の皆様たくさん御協力、重ねて御礼申し上げます。



**公民館ふれあいバザー収益金を  
ふれあいグループ元氣な仲間たち  
に贈呈**

十二月七日(土) 十時、漁民会館において草津民児協力田会長より、ふれあいグループの泉本会長へ贈呈されました。

**西区社会福祉大会**

平成二十五年十月五日(土)、西区地域福祉センターにおいて開催されました。西区社協東会長の開会挨拶につづき、十四名の地域福祉功労者の表彰式があり、感謝状が手渡されました。来賓の紹介の後、記念講演がありました。リユゾン地域福祉研究所代表理事丸山法子氏による「未来につながるふれあいいきいきサロニー地域のチカラを育てるために」社会保障制度や生活の仕組みが大きく変わる時代、地域のあり方、これからの地域がどうあるべきかについて、地域コミュニティづくりについて携わって二十年の経験をかした体験談をまじえながら楽しく話をされました。





# 「ふれあいバスハイキング」 同行記

平成二十五年十一月十七日(日)  
雨が心配されましたが、なんとか天候に恵まれて「ふれあいグループ元気な仲間達」のバスハイキングが行われました。

総勢七十三名で、中国新聞の印刷工場である「ちゅーピーパーク」を見学して、宮島の対岸にある安芸ランドホテルで昼食を取り、「岩国吉香公園」を散歩して帰路に着きました。



最初の「ちゅーピーパーク」は、平成五年に完成した全自動の印刷工場で「広島制作センター」と呼ばれています。朝刊五十五万部を約三時間で刷り上げる優れたものです。記念写真を取ってもらい、それぞれ個人の記念日の新聞を作ってもらったりして楽しく見学しました。



昼食の会場「安芸ランドホテル」まで少しバスで移動し、一時間余りゆったりと食事をして、楽しい時を過ごしました。  
岩国の「吉香公園」では自由に行動し「レンコン入りコロケ」を食べたり「ソフトクリーム」をおしゃべりに夢中になったりと、帰りの時間までゆつくりとくつろぎました。  
皆さんおつかれさまでした。



## ボランティア バンク開設

社協では地域福祉を実現する活動の拠点として「ボランティアバンク受付事務局」を草津公民館内に開設しています。

独り暮らしで人手がなくて困っている人、原則無料ですから、直接事務局に来訪または電話でご相談ください。猫の手を派遣します。

- 開設日/毎月第1・第3水曜日  
 (12月4日) (12月18日)  
 (1月15日) (2月19日)  
 (2月5日) (2月19日)  
 (3月5日) (3月10日)  
 時間/午前10時〜12時  
 場所/草津公民館内  
 (TEL: 082-271-2576)

### ◆ 編集後記 ◆

50日間、病院で過ごす羽目になりました。その間、定期的な検査等、看護師さんが出入りして点滴、血液検査と結構することがあるものです。でもゆつくり本を読む時間もありました。その中にこんなくだりがありました。ここに紹介します。  
 「この世を長く生きていると怒みばかりが積もるものだ。その怒みをどう残し、どう捨てるかで生き方が違ってくる、と思う。まずおのれを治めること、それをしないで他人(ひと)を怒むと、その者には一生のあいだ悲憤がつきまとうことになる。さらに、その悲憤が極限に達して自分がどうにもなくなったら、いっそ自分を捨てることだ。」

宮城谷昌光著「天空の舟」より  
(木田正昭)